

○宇野 裕委員 よろしくお願いいたします。私は、今回、一般質問で高速道路インターチェンジ周辺等の産業の受け皿づくりについて質問をさせていただきました。この質問をさせていただきました、その問題意識の背景には、この五、六年の間に圏央道、そしてそれに接続する銚子連絡道路2期区間の開通をした後の地元のグランドデザインはどうあるべきかというような視点、観点から質問をさせていただいたところでございます。今回、委員会で機会をいただきましたので、改めて銚子連絡道路についてお伺いをさせていただきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

私の地元匝瑳市に隣接する旭市を初めとした東総地域は、人口減少や高齢化の進行によって、地域の主要な産業であります農林水産業における従事者の高齢化や後継者不足が深刻となっております。今後、地域産業の活性化を図っていくためには、道路ネットワークの整備を進め、農林水産物の販路を拡大していくことが必要と考えているところであります。山武市と銚子市を結ぶ銚子連絡道路は、今申し上げましたように圏央道と接続し、地域経済の活性化や防災力の向上を図る上で非常に重要な幹線道路であり、一日も早く全線を開通させる必要があります。現在事業中の横芝光町から匝瑳市間については、昨年9月の常任委員会において、用地の状況について質問させていただいたところではありますが、令和5年度の確実な開通に向けて速やかに用地を確保する必要があると認識しております。

また、これに続く匝瑳市から旭市の未事業化区間については、平成30年度から今年度にかけて環境調査を実施したと聞いているところでありますが、早期事業化が望まれているところであります。先日、我が党の自民党の高橋議員が予算委員会において、銚子連絡道路について質問をしたと聞いております。ここで、私も改めて2点お伺いしたいと思います。

第1点として、横芝光町―匝瑳市間の用地確保の進捗状況はどのようになっているのか。

第2点として、匝瑳市―旭市間の検討状況はどのようになっているのか。

2点、よろしくお願いいたします。

○説明者（長島道路整備課長） 道路整備課でございます。

銚子連絡道路の事業中区間につきましては、現在、横芝光町芝崎から匝瑳市横須賀間の約5キロメートル区間で事業を行っております。この区間の用地の状況といたしましては、令和2年1月末時点の面積ベースの取得率は88%となっております。これは昨年度末の83%と比べ5ポイント上昇しております。引き続き地元の皆様の御理解

と御協力をいただきながら残る用地の取得に努め、令和5年度の供用を目指し、事業を推進してまいりたいと思っております。

○説明者（菰田道路計画課長） 道路計画でございます。

私からは匝瑳市から旭市間の検討状況について御説明いたします。匝瑳市から旭市までの約13キロメートルの区間につきましては、環境調査や周辺の土地利用状況などを踏まえ、現在、ルートや構造など具体的な道路計画について検討しているところでございます。引き続き早期事業化に向けて取り組んでまいります。

○宇野 裕委員 ありがとうございます。ぜひよろしくお願いをいたします。

1点要望させていただきたいと思っております。銚子連絡道路の早期全線開通は、毎年、事業促進の整備に地域住民が集まって要望している事業を展開しているところではありますが、そのように東総地域の発展のため大変重要な道路だと認識をしているところでもあります。このためにも、県は横芝光町―匝瑳市間の令和5年度の確実な開通とともに、今申し上げました匝瑳市と旭市の間、この区間について一日も早い事業化を図っていただきたい。そして全線、全区間を一気に進めていただくよう要望したいと思います。匝瑳市間の5キロをやりながら、旭に向けての12キロ区間、これは匝瑳市ができてからやるということでもなく、走りながら両方同時並行にやっていたらということ、旭市までの開通というのは一日も早くなるのではないかなと思っておりますので、両方とも並行してやっていただきたいというふうに思いますので、これは要望とさせていただきます。ありがとうございました。